


新任や若手の保育者がスムーズに溶け込むアイデア

新任や若手、また異動してきた保育者がすぐにコミュニケーションの輪に入り、のびのびと働ける環境にするためのアイデアを、園長を経験した先生や現役の園長先生にうかがいました。

アイデア1 休憩室やロッカー室の環境を工夫して、くつろげる空間に




背景 休憩室やロッカー室は、保育者がリラックスできる場所。特に緊張が絶えない若い保育者にとっては、唯一、肩の力が抜ける空間ですから、コミュニケーションを深める場所としては最適です。

アイデア クッションや座布団を置くなどしてよりくつろげる環境を用意すれば、休憩時間や勤務時間外などに保育者の間に会話が生まれやすくなります。お茶やお菓子があれば会話はいっそう弾みますから、小さな冷蔵庫や電子レンジなどを設置してもよいかもしれません。室内の飾りつけは、インテリア関係が好きな若い保育者に任せてみるのもいいでしょう。施設の事情もありますが、休憩室やロッカー室は保育室などとは空間を隔てて設置することで、仕事から離れられてリラックスしやすくなります。

効果 若い保育者にとって、先輩との自然な会話の中で子どものエピソードなどを聞く経験は視野が広がるきっかけになりますし、悩みがあるときは自分から相談しやすくなるでしょう。ただし、疲れているときに休める場所も必要です。休憩時間が逆にストレスにならないよう、気をつけましょう。

(元公立幼保一体施設長の提案)

アイデア3 園長先生や同僚と若手保育者が自由に交流する場を設ける




背景 新任の保育者は悩みや不安が尽きないものです。そんなときに何より心の支えとなるのが共感し、励まして助言を与えてくれる園長先生の存在や、同じ境遇でがんばる同僚と悩みを分かち合うことではないでしょうか。

アイデア 新任や異動によって新しく入ってきた保育者とコミュニケーションする場を園内に設けましょう。サロンのような明るく、自由な雰囲気が大切です。個別の仕事の状況、悩みや大変なこと、また印象的だった保育の場面などを話せるようにします。また保育者同士で健康管理やストレス解消法などの情報を交換することで、ワークライフバランスの向上が図れて意欲も高まります。

効果 園長先生や同僚に自分の状況を話し、コミュニケーションを深めることが悩みや不安の軽減につながります。園長先生にとっては、園としての理念などを伝えるよい機会になるでしょう。また困ったときは互いに助け合ってよいことを強調して伝えていけば、若い保育者がひとりでの悩みを抱え込んでしまうことが少なくなります。

(公立幼保一体施設長の提案)

アイデア2 年度の初めに、保育者全員で教材室や物置の整理をする




背景 新しく入ってきた保育者が困ることのひとつが、教材などの置き場所がわからないことです。遠慮してなかなか聞けなかったり、自分で探したりするうちに余計な時間を費やしてしまうことも少なくありません。

アイデア 年度の初め、保育者全員が参加して教材室や物置などを整理してはどうでしょうか。同様のねらいをもつ取り組みとして、月1回、全員で園舎や園庭を歩いて安全点検をすることもひとつの案です。

効果 園内が片付いて仕事がスムーズになるのはもちろん、新任の保育者は園に備わっている教材をひと通り確認し、保育のイメージを膨らませることができるようでしょう。作業中に自然と教材についての会話になり、保育内容や行事などについて共通の理解が図れるよさもあります。また体を動かして協同作業をすることで、みんなの心がほぐれて人間関係が円滑になる効果も期待できるでしょう。

(元公立幼稚園園長の提案)

アイデア4 重要な役割を徐々に任せて、若い保育者に自信をつけていく



背景 新任の保育者は目の前の子どもに対応するだけで手一杯です。初めから重要な園の役割を与えると過度な負担がかかり、精神的に追い込んでしまいかねません。かといって、活躍の場がまったくなければ、園の中での存在感ややりがいを感じられないことにも留意する必要があります。

アイデア 初めは負担が小さく、失敗をする可能性が少ない役割から任せるとよいでしょう。例えば、音楽が得意なら誕生会のピアノ当番、コンピューターに強いならパソコン関係の管理などが考えられます。行事では前面に出る役割ではなく、下準備などを中心にするともよいでしょう。

効果 「園のために役立った」という喜びは自信につながり、次第に自分のよさを発揮できるようになります。そして翌年度以降、徐々に重要な役割を任せるようにすれば、負担感を抑えながら成長を促すことができます。

(私立認定こども園長の提案)

園内コミュニケーションが活性化するアイデア

園内に温かい雰囲気を生み出すために、保育者同士、また園長と保育者間のコミュニケーションを活性化させましょう。ちょっとした工夫によって、保育者同士が学び合い、助け合う関係が生まれるものです。

アイデア5 職員の誕生日会など、親睦を深めるイベントを恒例にする



背景 子どもの誕生日会や季節の行事などイベント企画が得意な保育者は多いです。

アイデア その腕を保育者同士の親睦に生かしてはいかがでしょうか。毎月、保育者の誕生日会を開催し、お祝いの言葉とともに歌やケーキを楽しめば園内に温かい空気が生まれます。ほかにも、保育者の歓送迎会、クリスマスパーティー、忘年会などでも親睦を深められますし、大きな行事のあとに慰労会を開催するのもよいアイデアです。忙しくてあまり時間が取れないという園もあるでしょうが、特にイベント企画が得意な保育者に親睦会担当者として企画に集中してもらうなどして省力化を図りましょう。

効果 「園全体が自分のことを大切に思ってくれている」という思いは、保育者同士の結束を強めますし、「明日からまたがんばろう」という気持ちにもつながるでしょう。園外での会食を開催すれば、ふだんとは異なる会話が広がるかもしれません。

(私立認定こども園長の提案)

アイデア7 行事の担当などは、得意な人同士のチームをつくって分担する



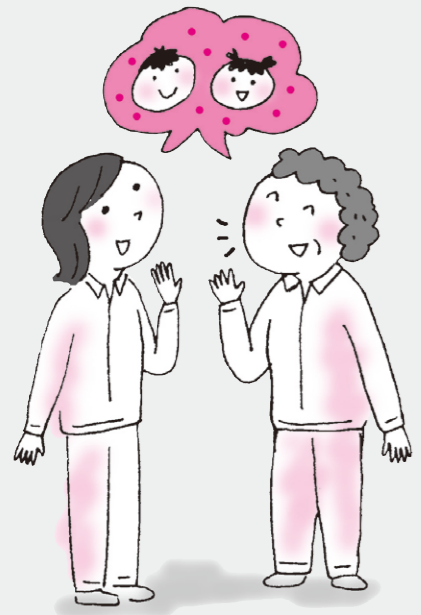
背景 保育者間のコミュニケーションを活性化させる基本は、業務上の連携を密にすることです。

アイデア 年間の行事の役割分担は、園長が決めていくのではなく、それぞれの保育者が得意なことを生かせるよう、基本的には自主的に決めてもらうようにします。例えば、スポーツが得意な人は運動会、ピアノや工作が得意な人はお楽しみ会といった具合です。その行事に関連することが得意な人たち3、4名がチームとなって連絡を密にしながら取り組むことで、それぞれの行事への参加も自主的なものになっていくはず。同時に、仲間意識も醸成されていくでしょう。

効果 チームでの保育を円滑にすることで業務の効率化が図れるうえに、園内にまとまりを生み出せます。また、保育者が自信をもって取り組めるので、行事そのものの内容もより充実するでしょう。このように保育者が協同するしきみを整えるとともに、ふだんから困ったときには互いに助け合う関係を作っていくと園長先生が強調して伝えることで、保育者間の連携はより深まるでしょう。

(元公立幼稚園園長の提案)

アイデア6 1日1回、保育者に声をかける「1分間マネージメント」



背景 園長先生がすべての日案や週案に細かく目を通してコメントを返すのは、時間的に難しいかもしれません。しかし、保育者に「園長先生はいつも自分を気にしてくれている」という安心感を与えることは信頼関係の礎となります。

アイデア 1日1回はすべての保育者に声をかけ、短時間でメッセージをおくる「1分間マネージメント」を実践してみたいかがでしょうか。その日の保育の予定や子どもの様子を聞くとともに、顔色などから健康状態をチェックして気になるようなら声をかけましょう。またそれぞれの保育者が担当する子どもの姿や保護者の声などで気づいたことを伝えましょう。保育の参考になりますし、園長先生としての保育に対する考え方も伝えることができます。

効果 こうしたマネージメントを続けるうちに、それぞれの保育者の仕事の状況や悩みなどが手に取るようにわかるようになります。さらに年2、3回ほど、ひとりの保育者につき15分くらいのヒアリングをすれば、ふだんよりも深い話を聞き出すことができ信頼関係の構築につながります。

(公立幼保一体施設長の提案)

アイデア8 園長が、壁面の装飾や子どもの作品展示を手伝う



背景 ふだん、園長は個々の保育者に具体的な指導をする機会は多くないかもしれません。しかし、手伝いを通して実践指導やコミュニケーションの機会にすることができます。

アイデア 保育者が壁面の装飾や子どもの作品展示などを行っているのを見かけたら、園長先生が手伝ってみてはどうでしょうか。その際、装飾や展示に関わるアイデアを伝えるようにします。

効果 こうしたきっかけがあれば、実践を通じた指導となり、園長先生の保育に対する考え方なども伝えられるでしょう。さらに面談のようにかしこまった場面よりも、作業をしながらの方が話しやすいというよさもあります。コミュニケーションが深まるにつれて、ふだんは聞けなかった保育者の本音や悩みなどが出てくるかもしれません。保育者にしてみれば「助かった」という気持ちになりますし、「園長先生が自分を気にかけてくれている」という安心感や心強さも芽生えるでしょう。こうした一つひとつのサポートの積み重ねから信頼関係が生まれ、保育者は次第に心を開いていくものです。

(元公立幼稚園園長の提案)